

インクジェットプリンタ UJV500-160

日常のお手入れと確認のお願い

本機は非常に微細なメカニズムを持つ精密機械です。特にインクを吐出するヘッドのノズル面は、わずかなホコリや紙粉の付着でも影響を及ぼし、正常なプリント結果を得られなくなる可能性があります。より良い状態でご使用いただくために、以下のお手入れを日常行われることをお勧めします。

1. お手入れを行うタイミング

お手入れを行うタイミング	お手入れ項目	参照ページ
毎日 (1日の作業終了後)	ヘッド周辺	P.2
	キャッピングステーション	P.4
	ワイパー	P.5
	メディア押さえ	P.6
	メディアセンサー	P.7
1週間に1回 (週末の作業終了後)	プラテンの清掃	P.8
	外装	P.8
	廃インクタンク	P.8
	ポストキュアランプの清掃	P.9
	負圧の確認と調整	P.9
1か月に1回程度	キャリッジフィルターの交換	P.10
	ミストフィルターの交換	P.12
	吸気フィルターの交換	P.13
1年に1回程度	外部インク供給ユニットのインクフィルターの交換	P.14
	空圧フィルターの交換	P.15



お手入れに必要な道具

- クリーンスティック (品番: SPC-0527)
- メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)
- 綿棒
- 手袋
- 柔らかい布



本装置は紫外線硬化インク (UV インク) を使用するプリンタです。お手入れの際は必ず**付属の保護メガネと手袋**を装着してください。

2. 毎日行うお手入れ



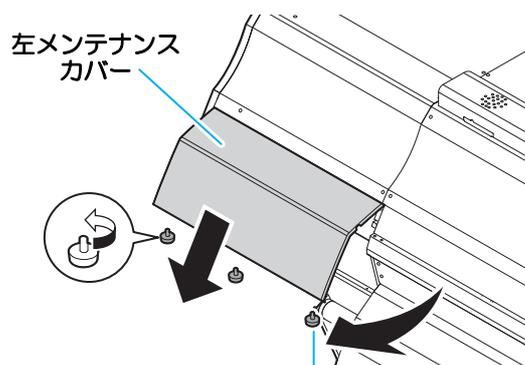
- ヘッド周辺 / キャッピングステーション / ワイパを清掃するときは、クリーンスティック (SPC-0527) をお使いください。
通常の綿棒をお使いになると、糸くずが残って二次障害を引き起こすことがあります。
- キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパは、必ず毎日メンテナンスをおこなってください。汚れたままにした場合、ノズル面に汚れが付着したり、ノズルにゴミや凝固インクをこすりつけ、吐出不良が発生する恐れがあります。
- キャリッジ下面がインクやホコリの付着により汚れないように、必ず毎日清掃をおこなってください。汚れたままの状態にしておくと、ヘッドクリーニング時のワイブ動作でノズルにゴミや凝固インクをこすり付けてしまう恐れがあります。
- キャリッジ下面を清掃する場合、ノズル面をこすらないよう、十分に注意してメンテナンスをおこなってください。

(1) ヘッド周辺（取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」）

- 重要!** • ヘッド周辺は、本装置の中で最も汚れがたまりやすく、本装置の動作や作図結果に影響を及ぼす恐れのある場所です。また、ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れには十分な注意が必要です。

1 キャリッジを左へ移動させ、左メンテナンスカバーを開ける

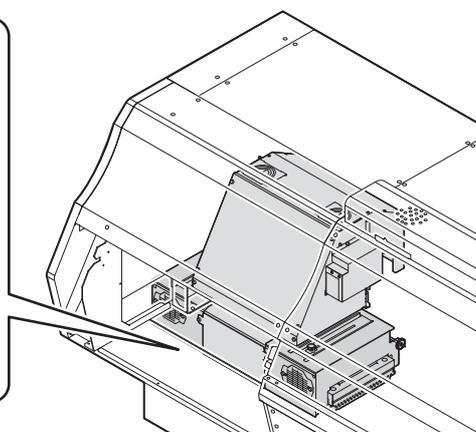
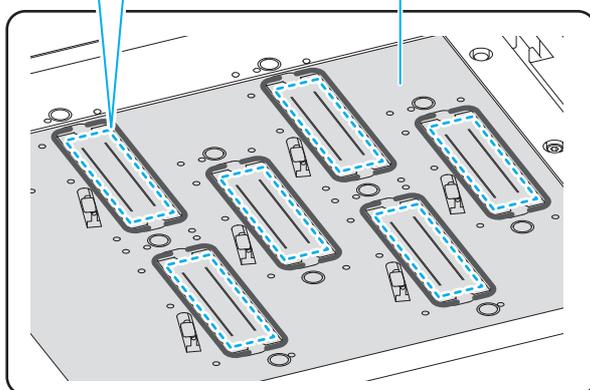
- 取扱説明書 4 章「ヘッド周辺の清掃」手順 1～5 を参照して操作してください。



2 クリーンスティックまたはウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ヘッドの周りや溝に溜まったインクを拭き取る

清掃中はノズルに触らないようにご注意ください。

ヘッドの側面（濃い灰色部分）



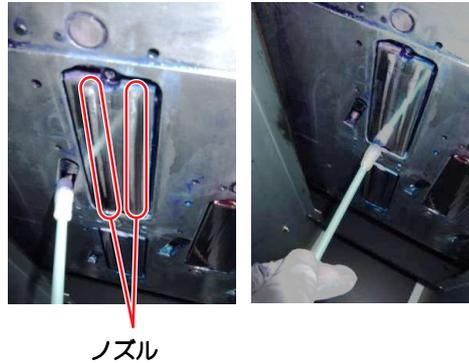
重要!

- 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- 清掃中はノズルに触らないようにご注意ください。
- メンテナンス途中で席を離れる場合、**(ENTER)** キーを押して清掃を終了してください。そのまま放置すると外光の影響でインクが硬化し、ノズル詰まりなどの弊害を及ぼす恐れがあります。

【清掃前】



【清掃中】

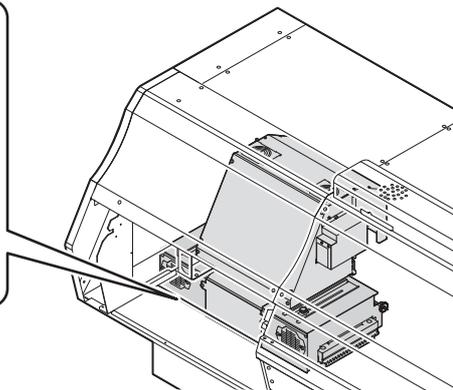
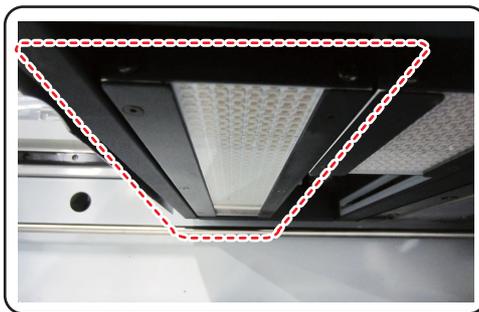


【清掃後】



3 UV ランプ下面を清掃する

- UV ランプ下面奥側にインクが付着している場合、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで、拭き取ります。
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



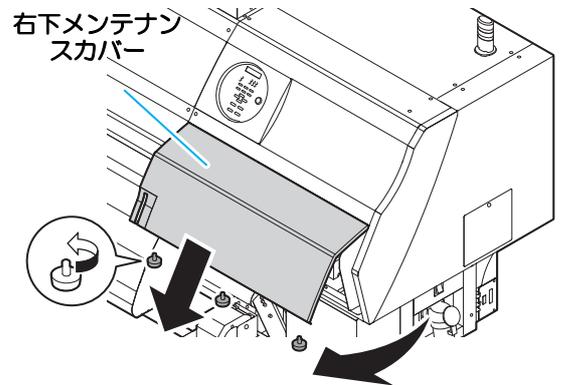
(2) キャッピングステーション (取扱説明書 4章「ワイパーとキャップの清掃」)

キャップ周辺も、ホコリやインクがたまりやすい場所です。ご使用のインクに適したメンテナンス用洗浄液を使用し、ヘッドに汚れが付着しないよう、こまめな清掃をお勧めします。

- メンテナンス用洗浄液 (SPC-0568)

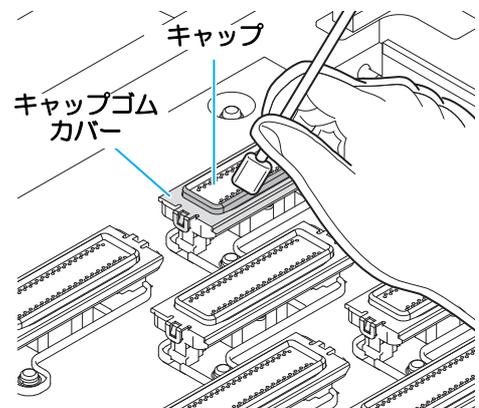
1 キャリッジを移動させ、右下メンテナンスカバーを開ける

- 取扱説明書 4章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1～5 を参照して操作してください。



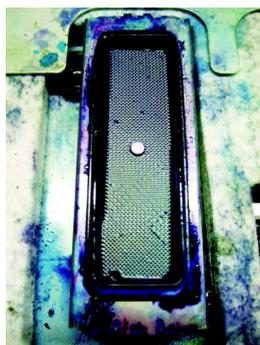
2 キャップゴムとキャップカバーを清掃する

- キャップゴム、キャップゴムカバーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



重要!

- 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。
- 清掃後は、キャップゴムやキャップ内メッシュが外れていないことを確認してください。



清掃前



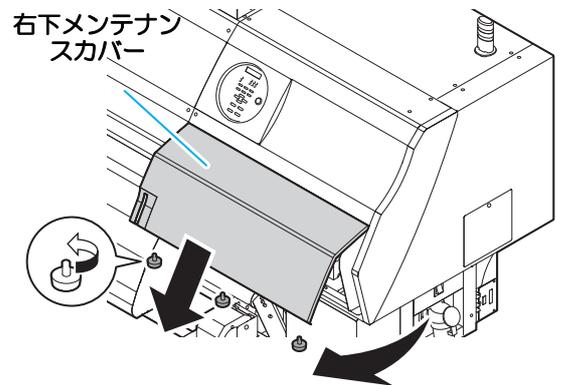
清掃後

(3) ワイパー（取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」）

ワイパーには、インク、ホコリおよび紙粉などがたまりやすくなります。ワイパーの状態を確認し、汚れていたら清掃してください。

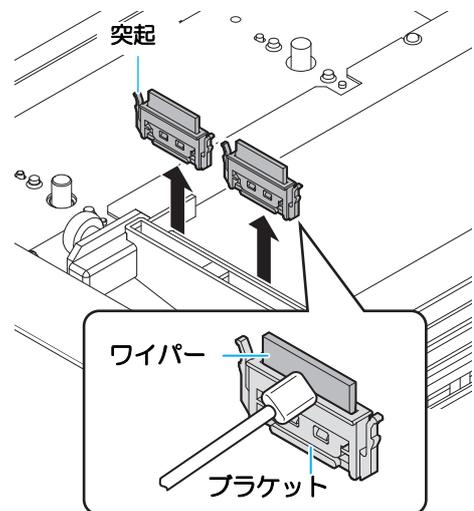
1 キャリッジを移動させ、右下メンテナンスカバーを開ける

- 取扱説明書 4 章「ワイパーとキャップの清掃」手順 1～5 を参照して操作してください。



2 ワイパーを清掃する

- ワイパー両端の突起を持って、ワイパーを取り出します。
- クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーとブラケットに付着したインクを拭き取ります。メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。



また、次のような場合は、取扱説明書 4 章「ワイパーを交換する」にしたがって、新品のワイパー（品番：SPA-0193）と交換してください。

- ワイパーが変形している場合
- 固着したインクが拭き取れない場合
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合

- 重要!**
- 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。
 - 清掃後はブラケットとワイパーが水平になっていることを確認してください。



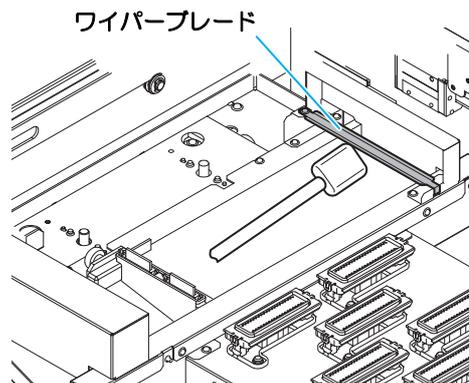
清掃前



清掃後

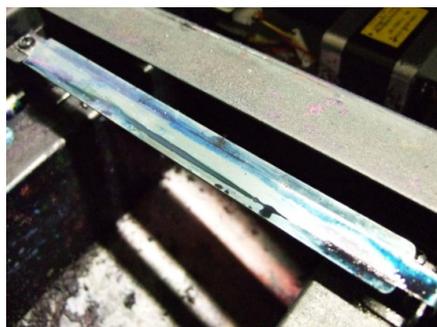
(4) ワイパーブレードの清掃

クリーンスティックまたはウェスにメンテナンス洗浄液を含ませ、ワイパーブレードに付着したインクを拭き取ります。

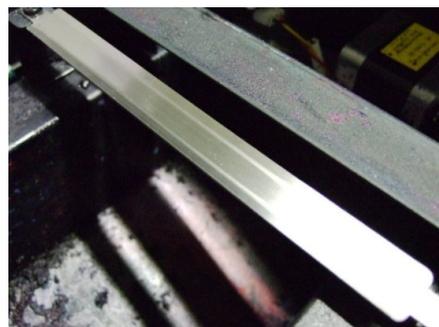


重要!

• 下の写真のような状態になるまで、清掃してください。



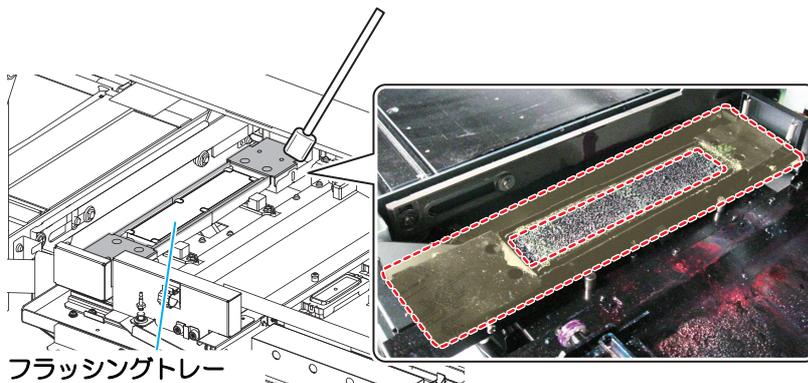
清掃前



清掃後

(5) フラッシングトレイ

クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませ、図の板金のか所に付着したインクを拭き取ります。



フラッシングトレイ



• 塗装が剥がれる場合がありますが、機能上問題ありません。キャリッジに付着する恐れがあるので、剥がれかかった塗装は拭き取り剥がしてください。

(6) メディア押さえ（取扱説明書 4 章「メディア押さえの清掃」）

メディアのカットくずやホコリがメディア押さえとプラテンの間にたまると、メディアの搬送が正常に行えなかったり、ノズルに付着して正常なプリントができなくなる恐れがあります。こまめに清掃してください。



• 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。
• 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。

(7) メディアセンサー（取扱説明書 4 章「メディアセンサーの清掃」）

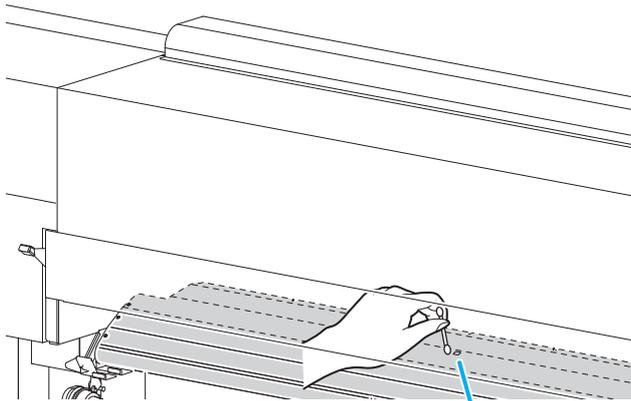
センサーは、本体背面のプラテン上と、ヘッド底面の 2ヶ所あります。

センサーにホコリやインクが付着すると、メディアの誤検知の原因になります。柔らかい布や綿棒でふき取ってください。



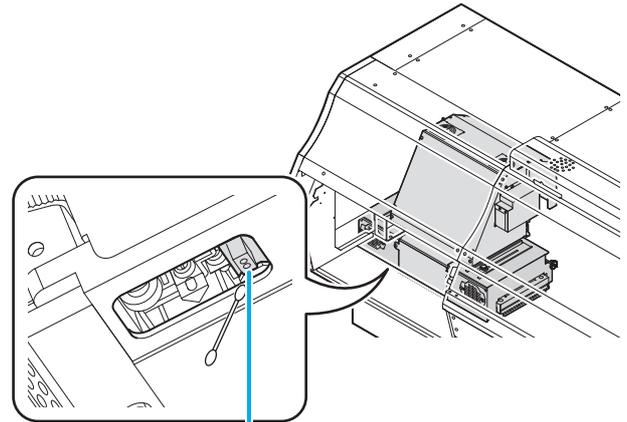
- センサーの清掃には、溶剤は絶対にお使いにならないでください。
- 汚れが激しいときは、水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。
- ヘッド下面のメディアセンサーを清掃するときは、センサー付近にあるカッター刃に注意し、怪我をしないようにしてください。

装置背面



メディアセンサー

ヘッド下面



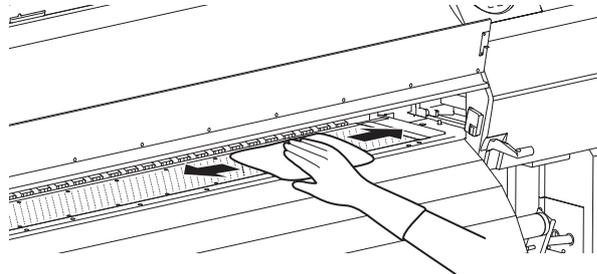
メディアセンサー

3. 定期的に行うお手入れ（1週間に1回）

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、1週間に1回、定期的にお手入れをしてください。

(1) プラテン（取扱説明書 4章「プラテンの清掃」）

汚れたまま使用を続けると、メディアが正しくフィードできなくなったり、ヘッドノズル面にゴミや固まったインクをこすり付けて、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因となります。



- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてからメンテナンスをしてください。
- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。



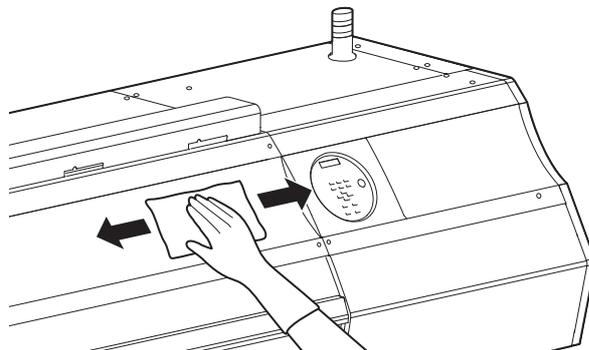
- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。



- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。

(2) 外装（取扱説明書 4章「外装のお手入れ」）

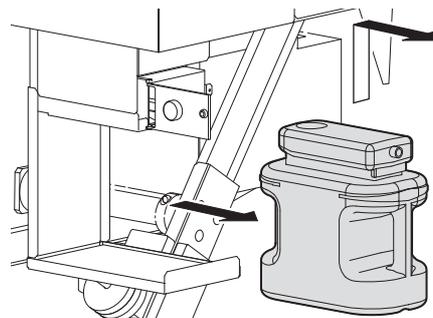
使用環境により、本体の外装には塵や砂埃が付着することがあります。ヘッド移動部へのホコリの進入を防ぐために、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってからふき取ってください。



- 本機の内部に液体が入らないようにしてください。本機の故障、感電、または火災のおそれがあります。

(3) 廃インクタンク（取扱説明書 4章「廃インクの廃棄」）

廃インクタンクが満杯になっていないか確認して、廃インクがあふれないように注意してください。



(4) ポストキュアランプの清掃

ランプに埃や汚れが付着していないか確認してください。

汚れ等が付着している場合は、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってから拭き取ってください。

重要!

- ポストキュアランプを清掃した後は、水分が乾いていることを確認してから使用してください。水分が残ったまま使用すると、ランプの照度低下の原因になります。

(5) 負圧の確認と調整（取扱説明書 4 章「圧力異常が発生したら」）

使用環境や経年変化により、本機で管理している圧力が制御範囲を超えてしまう場合があります。

エラーが起きなくても、週間に一度負圧の確認をし、必要に応じて調整を行ってください。

4. 定期的に行うお手入れ（1か月に1回）

(1) キャリッジフィルターの交換

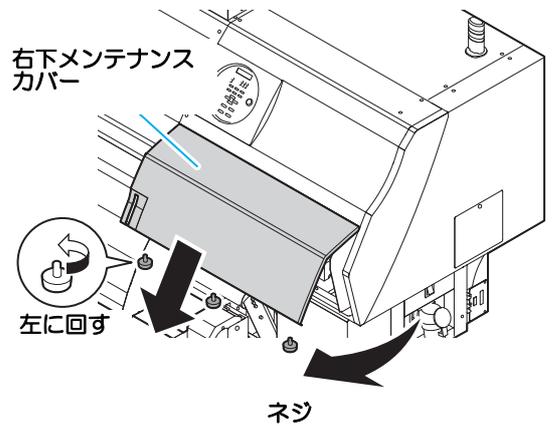
1か月に一度交換してください。

1 主電源スイッチをオフにする

2 右下メンテナンスカバーを開ける

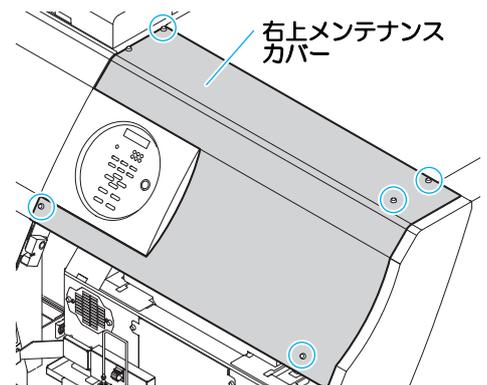
- (1) 右下メンテナンスカバー下のネジ(3箇所)を左に回して取り除く
- (2) 右下メンテナンスカバーの下側を持ち、手前に引く
- (3) 下に引くようにして、右下メンテナンスカバーを取り外す

- 右下メンテナンスカバーが開けづらい場合は、付属のドライバーを使って開けてください。



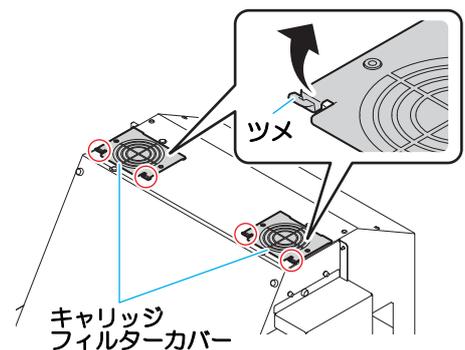
3 右上メンテナンスカバーを開ける

- 図の丸部分のネジを外して、カバーを取り外します。

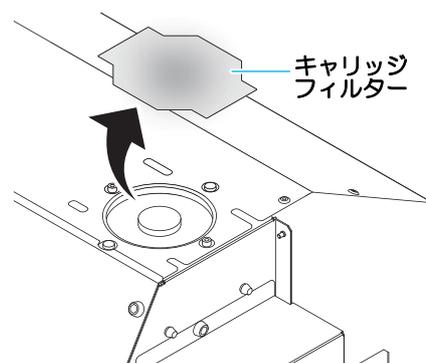


4 キャリッジ上部にあるキャリッジフィルターカバー(2箇所)を取り外す

- キャリッジフィルターカバーのツメをつまんで、上に引き上げてください。



5 使用済みのキャリッジフィルターを取り外す

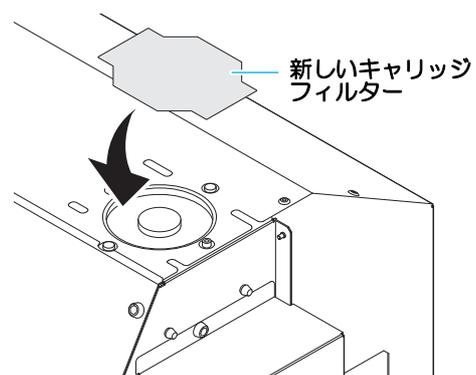


6 新しいキャリッジフィルター (SPA-0189) を取り付ける

- キャリッジフィルター左右の穴をキャリッジの凸部に入れ込んでください。

重要!

- キャリッジフィルターはキャリッジ上部に2箇所にあります。交換するときは、両方のフィルターを同時に交換してください。



7 キャリッジフィルターカバーを元の状態に戻す

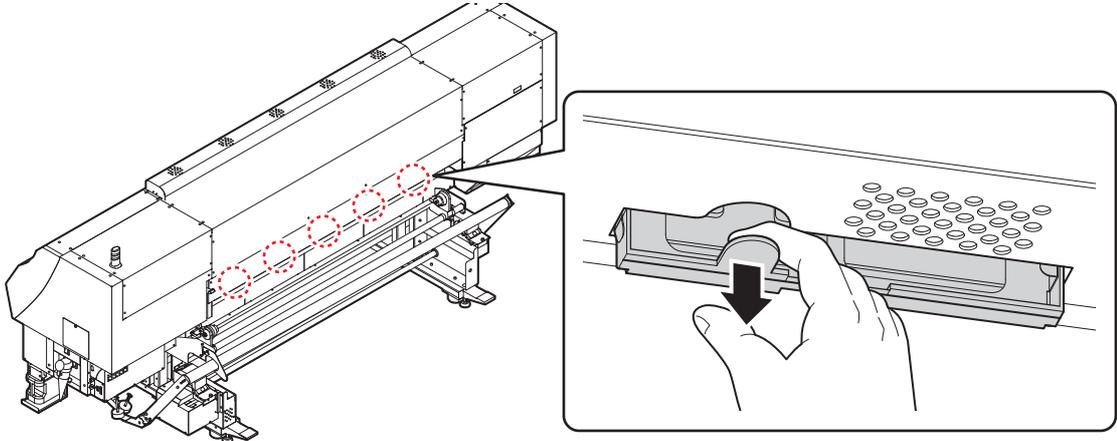
8 右上メンテナンスカバーと右下メンテナンスカバーを閉じる

(2) ミストフィルターの交換

1か月に一度交換してください。

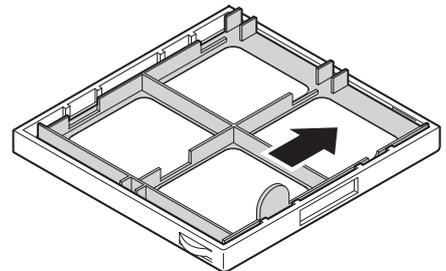
1 本体背面にある、ミストフィルター ASSY を引き出す

- ミストフィルター ASSY は本体背面 (図の○印の箇所) に 5 個あります。
- 底面にある穴に指をかけ、ミストフィルター ASSY を下に引き出します。



2 使用済みのフィルターを取り出す

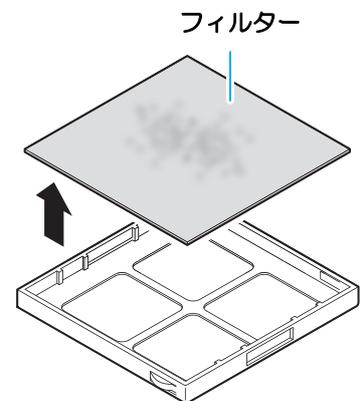
(1) フィルター押さえを少しスライドさせ、取り外す



(2) 使用済みのフィルターを取り出す

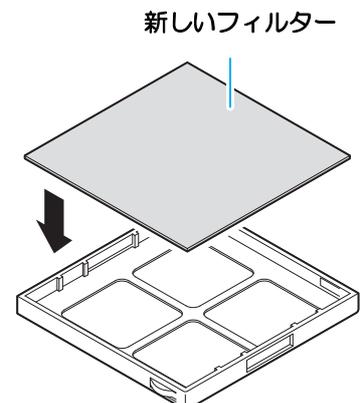
重要!

- ミストフィルター ASSY には、プリント時のインクが付着しています。フィルターを交換する際は、紙などを敷いてから行うことをお勧めします。



3 新しいミストフィルター (SPA-0190) を取り付け、フィルター押さえを取り付ける

4 ミストフィルター ASSY を元の位置に取り付ける

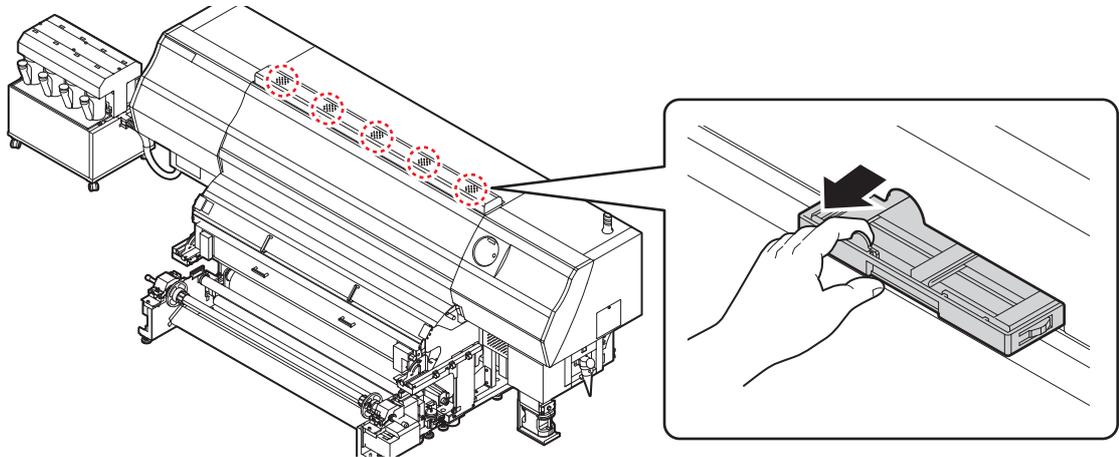


(3) 吸気フィルターの交換

1 か月に一度交換してください。

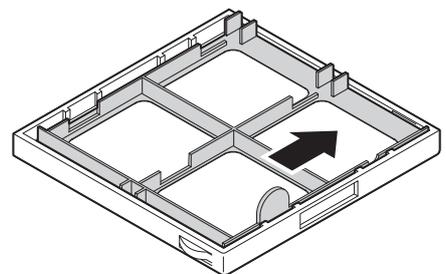
1 本体上部にある、吸気フィルター ASSY を引き出す

- 吸気フィルター ASSY は本体背面 (図の○印の箇所) に 5 個あります。
- 手前にある穴に指をかけ、吸気フィルター ASSY を下に引き出します。



2 使用済みのフィルターを取り出す

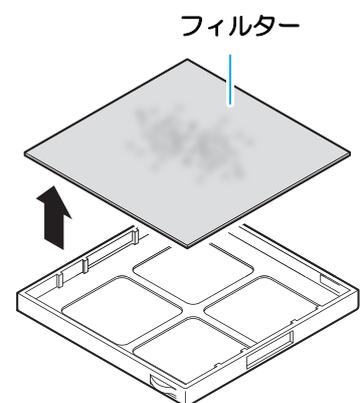
(1) フィルター押さえを少しスライドさせ、取り外す



(2) 使用済みのフィルターを取り出す

重要!

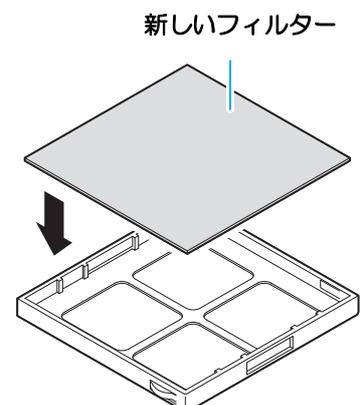
- 吸気フィルター ASSY には、プリント時のインクが付着しています。フィルターを交換する際は、紙などを敷いてから行うことをお勧めします。



3 新しいミストフィルター (SPA-0190) を取り付け、フィルター押さえを取り付ける



- 吸気フィルターの交換に使用するフィルターは、P.12「ミストフィルターの交換」と同じフィルター (SPA-0190) を使用しています。



4 吸気フィルター ASSY を元の位置に取り付ける

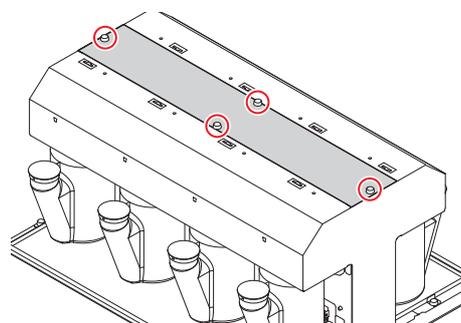
5. 定期的に行うお手入れ（1年に1回）

(1) 外部インク供給ユニットのインクフィルターの交換

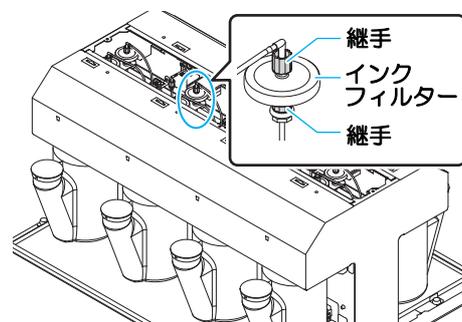
1年毎に交換してください。

1 主電源スイッチを切ってから、外部インク供給ユニットのメンテナンスカバーを取り外す

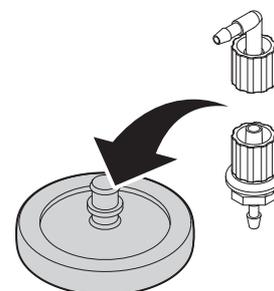
- メンテナンスカバーのネジ（4カ所）を外し、カバーを取り除きます。



2 インクフィルター上下の継手を緩める

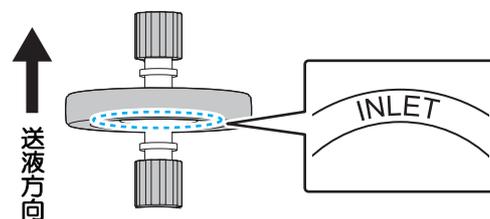


3 使用済みのインクフィルターを取り外す



4 新しいインクフィルター(SPA-0196)を取り付け、継手を締める

- インクフィルターを取り付けるときは、送液方向に注意してください。
- フィルターに「INLET」と書かれている側を下に向けて取り付けてください。



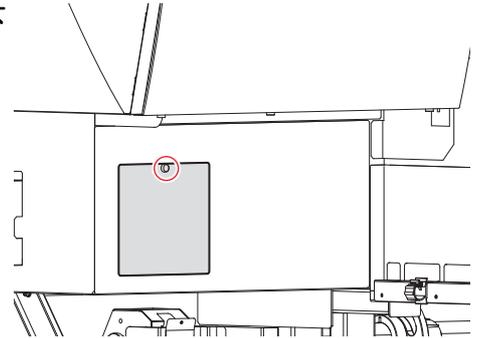
5 インクカバーを元の位置に戻し、主電源スイッチを入れる

(2) 空圧フィルターの交換

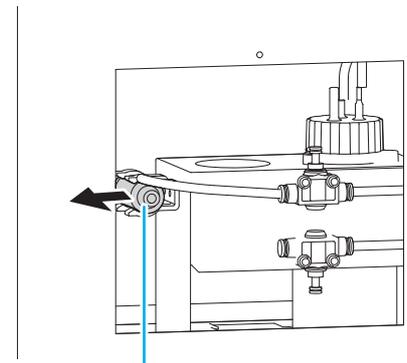
1年毎に交換してください。

1 主電源スイッチを切ってから、左メンテナンスカバー下のカバーを取り外す

- 図の丸部分のネジを外して、カバーを取り外します。



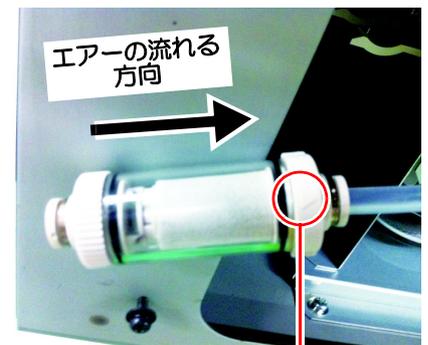
2 空圧フィルターを矢印の方向に引き抜く



空圧フィルター

3 新しい空圧フィルター (SPA-0195) を取り付け、前面カバー左を取り付け、主電源スイッチを入れる

- 空圧フィルターを取り付けるときは、エアの流れる方向に注意して取り付けてください。



△方向がエアが流れる方向です。

6. メディアの保管

メディアは、ほこりが付きにくく直射日光が当たらない場所に保管してください。また湿度も嫌いますので高温多湿な場所での保管は避けてください。

7. インクボトルの保管

次の事項に注意して保管してください。

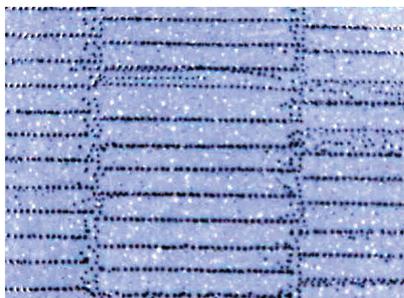
- 直射日光が当たらず、湿度の高くない場所に保管してください。
- インクボトルを落下させたりぶつけたりしないでください。
- インク IC は、汚したり、静電気放電させないでください。
- インクボトルとインク IC は必ず一緒に保管してください。



インクボトルとインク IC

8. 作図不良の例

ホコリなどを原因として発生するヘッド(ノズル)の吐出不良が、作図に及ぼす代表的な例を示します。このような状態で使用しないように、出力前や出力中に定期的にノズルの状態を確認してください。ノズルの状態は、本装置の「テストプリント」で確認できます。(取扱説明書 2 章「テストプリントを行う」)



1. 飛行曲がり



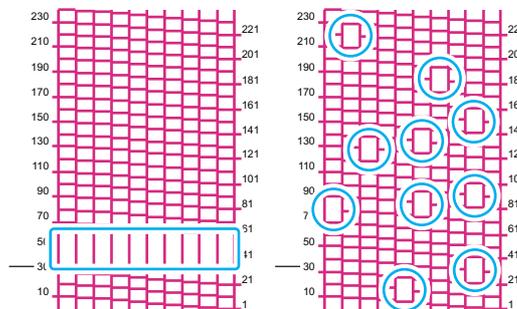
2. ノズル抜け



3. ポタ落ち



4. しびき



5. 空気の混入

9. ノズル吐出不良の回復方法

本装置を長時間使用しなかった場合や環境温度によっては、ノズルの吐出が不安定になる場合があります。この場合、ノズルを回復させるために以下の方法があります。

■ P.16「作図不良の例」1～4の症状の場合

1. 日ごろのお手入れ

- 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. ヘッドクリーニング（ノーマル）をする 取扱説明書 2 章

- 1のお手入れを行った後、取扱説明書の手順に従ってヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

ノズル抜け等が改善しない場合

3. ヘッドクリーニング（ハード）をする 取扱説明書 2 章

- 数回ノーマルクリーニングを繰り返してもノズル抜けがなくなる場合、クリーニングモードをハードに設定して、再度ヘッドクリーニングを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

ノズル抜け等が改善しない場合

4. ノズルリカバリ機能を設定する 取扱説明書 4 章

- ノズルリカバリ機能を設定してください。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

■ P.16「作図不良の例」5の症状の場合

1. 日ごろのお手入れ

- 本書に記載されている、各所のお手入れを行ってください。

2. インクの混色や空気混入によるノズル抜けが発生したら 取扱説明書 5 章

- 取扱説明書の手順に従って空気抜きを実施します。

→ テストプリントを行い
確認する
(取扱説明書  2 章)

重要!

- 以上の操作をしてもノズル抜けが回復しない場合には、弊社または本機をお買い上げいただいた販売店にサービスコールをしてください。

10. サプライ品のご案内

品名	品番	品名	品番
メンテナンス用洗浄液	SPC-0568	空圧フィルター	SPA-0195
廃インクタンク	SPA-0197	キャリッジフィルター	SPA-0189
カッター刃	SPA-0192	ミストフィルター	SPA-0190
ヘッド周辺用クリーンスティック 50 入	SPC-0527	ワイパーキット	SPA-0193
インクフィルター	SPA-0196		

11. 安全上のご注意

ご注意



本装置は紫外線硬化インク (UV インク) を使用するプリンタです。お手入れの際は必ず**付属の保護メガネと手袋**を装着してください。



インクは、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面、ヘッド周辺やキャップ、ワイパーなどに、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。



本機はインクの吐出安定性を確保するために、長時間使用 (出力) しないときは、充填するインク種によって定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。**長時間使用しないときは、前面の電源ボタンのみを OFF にしてください。右側面の主電源スイッチは ON (| の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。**



LED UV 装置の温度が完全に下がってからお手入れを行ってください。火傷をする危険性があります。



本機を絶対に分解しないでください。感電、火災および破損の原因になります。



本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電、火災および破損の原因になります。



お手入れは、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。



ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質、変形する恐れがあります。



本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。



紫外線硬化インク (UV インク) は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺やキャップ、吸引ノズルなどへは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。

12. 設置環境

- できるだけホコリの少ない環境で使用してください。扇風機、送風機なども周囲のホコリを舞い立たせる原因です。
- 使用環境は、+20 ~ +30 °C (68°F ~ 86°F)、35 ~ 65% Rh です。これより低温湿 / 高温湿でのご使用は避けてください。



お問い合わせ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

<https://japan.mimaki.com/>

テクニカルコールセンター

 **0120-106-114**

お問い合わせ時間： 午前 9:00 より午後 6:00 まで

営業日： 月曜日から金曜日まで (祝祭日を除く)

「日常のお手入れのお願い」の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

© 2014 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.

D202487-14-03122020

KM
FW :1.50